

2026
6
June

リフォーム営業の課題解決マガジン

リフォームマガ

現場に
フォーカス!

リフォームの全ての
記事を読むなら
リフォーム産業新聞
電子版で!
詳細はこちら▶▶▶



発行：リフォーム産業新聞社

毎月第2・4月曜日掲載

リフォームの道へ 私が独立した日

「せっかく頼んでくれたのだから お客様の気づいていない 課題を解決したい」



なごみ建設(兵庫県芦屋市)
代表取締役社長

兼上雅宏さん

プロフィール

兵庫県出身。不動産売買、新築、リフォームと建築関連の事業に従事し、2013年に独立。同社の年間売上高は約1億円。年間受注件数は108件。

不動産から リフォームへ

不動産の販売営業からキャリアをスタートさせた兼上雅宏さんは、次第に「建物売るよりも、つくった直したりする方が自分には向いている」と感じるようになった。その後ガス販売会社でリフォーム業全般、工務店でゼネコン・サブコンとの業務を経験する

「プライベートを削ることもうれしい悲鳴 クオリティのためなら苦にならない」

なかで、徐々に独立したいという気持ち芽生えた。さらに幅広く建築知識を身につけたいと考え工務店に入社、リフォーム部の立ち上げを任せられた。「新築OBのリフォーム需要はあったけど、当時はリフォーム部がまだなくて。立ち上げをやってくれと頼まれました」

持ち前のコミュニケーション力を生かし、リフォーム事業を軌道にのせることに成功した。新築事業も経験したことで、いよいよ独立志向が高まってきた。2013年10月に総合リフォーム会社としてなごみ建設を創業した。

創業後、まず直面した壁は、認知度を高めることだった。「自分が大切にしているのは、納まりやデザイン、工事中の対応を含めた品質の部分。社名が浸透していないなかで、その強みをどう伝えていくかが課題でした」

そこで、「完成品のないものをわかりやすく、かたちに実現する」という同社の理念に則り、まず現場調査やヒアリングなど、丁寧

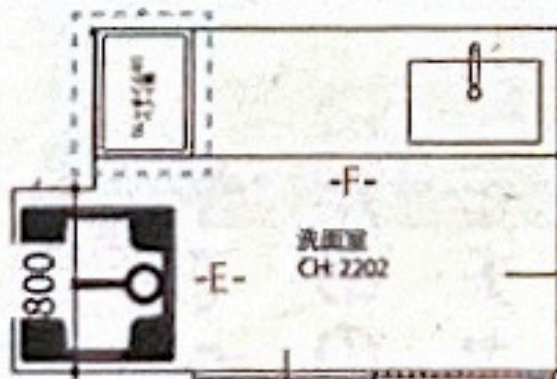
工事後の暮らし方まで踏み込んだ提案を意識し、工事中もなるべく現場に行っていた。そうしているうちに、兼上さんの気さくな人柄と誠実な対応が顧客から「なごみ建設は丁寧で相談しやすい」と評価してもらえ

地域で必要とされた

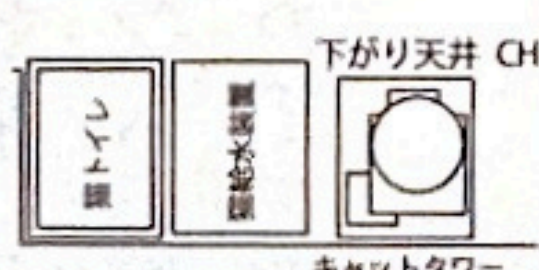
目下の課題は、とにかく時間が足りないことだという。工事の規模にかかわらず、すべての工事に対して兼上さんが全力を尽くしているため、休日出勤も珍しくない。「うれしい悲鳴ですが、プライベートを削って仕事をしてしまっています。仕事のクオリティを落とすたくないんで、全然苦ではないんですけどね」



猫用トイレスペース



図面上でも猫用トイレや給水スペースを計画した



マンションのリノベ事例

兼上さんの印象に残っている、猫と暮らすマンションのフルリノベーションの事例。洗面室の使い方を見直し、洗濯機の位置や収納、洗面カウンターを整理した。猫用トイレや給水スペースもプランし、人も猫も快適に過ごせる空間に仕上げた。「何度もお施主様とやりとりしました。「前より暮らしやすくなった」「思い切って相談してよかった」と言っていただけで、ときが一番やりがいを感じます」(兼上さん)



ここにも猫用トイレ

2024年からは営業補佐やウェブ担当として義兄をスタッフとして迎え入れた。ホームページの更新などは多少軽減された。ホームページにリノベの事例を増やしたり、独自にイベントを開催したりしたことで、2〜3年前くらいから100万円超のリノベーション受注が増えてきた。今では4000万円超のフルリノベを手掛けることもある。今後は仕事の品質を保ちながら、...

(続きは「リフォーム産業新聞 電子版」でお読みいただけます)